

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
1	7番 石上 壘	第3次まちづくり 実施計画について	1 目標人口と計画実現について	平成25年に策定された総合計画では、目標人口を9万人として第1次・第2次まちづくり実施計画の中で実効性の高いとされる各種施策に取り組んできました。最終仕上げとなる第3次まちづくり実施計画では、目標人口の位置づけが明確に示されていないように感じますが、今回の計画がより高い実効性のある施策となるための評価及び改善点を伺います。
			2 君津市の将来都市像について	将来都市像「人が集い 活力あふれる 健康都市 きみつ」～夢と誇りの持てるまち～に向け5つの基本目標と、それぞれの重点施策が示されました。どれをとっても欠かすことのできない施策であることは間違いありませんが、他市と違った個性を強調したまちを目指すのか、近隣市との協調性を保つまちを目指していくのか、目指すべき方向性を伺います。
			3 宅地開発について	市民が期待し、希望の持てる君津市としていくためには、民間による宅地供給への依存ばかりでなく、市が土地利用の誘導や土地開発を積極的に進めて安定的な宅地を確保し、供給していくべきと考えますが、見解を伺います。
			4 企業誘致について	地域経済の持続的な発展と雇用創出という点で、市の主体的・戦略的な取り組みが重要であります。第3次まちづくり実施計画における取り組みと方向性について伺います。また、いま活躍する企業への支援策も重要な取り組みの一つと考えますが、現在の取り組み状況を併せて伺います。
			5 ファシリティマネジメントの推進について	市民サービスにおいて、公共施設の最適化は非常に重要な位置づけであると思いますが、現在進めている個別施設計画の策定状況と、市民対話推進事業との関わりについて、伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			6 空き公共施設の利活用について	学校再編プログラムが進ちよくして、来年度から空き公共施設が出てきますが、施設は利用されない状況で放置されると劣化が著しく進みます。未利用の期間を最小限にするためにも、今後の計画を早期に策定し実行しなければならないと考えますが、見解を伺います。
			7 保育環境整備について	民間事業者の誘致が決まり、待機児童の解消に一定の方向性が見えてきましたが、公立保育園の施設整備と貞元地先の旧学校用地活用について伺います。
		防災・減災対策について	河川改修について	台風の大型化やゲリラ豪雨の頻発など、水害の危険性は日本全土で近年増加傾向にあります。本市においても、水害への不安が払拭できている状況にはなく、また、小糸川や枝川には土砂の堆積による樹木の繁茂、橋脚への流竹木の堆積など、梅雨の時期を迎えるにあたってどのように対策していくのか、今後の方向性と併せて伺います。
		選挙の投票率について	投票率向上対策について	4月に執行されました千葉県議会議員選挙については、君津選挙区では12年ぶりの選挙となったにも関わらず、投票率は38.35%と昨年行われた君津市長選挙の50.55%に比べて非常に低い結果となりました。前回と比較すると県議会議員選挙が約8ポイントの減、市長選挙が約3ポイントの減と、年々政治への参加意識が低下していることがうかがえます。 これからの市政運営において、多くの市民の方々に関心を抱いていただけるような運営の仕方や取り組みが必要ではないかと考えますが、見解を伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
2	8 番 松 本 裕次郎 予定日時 6月6日(木) 11:15~12:15	行財政運営について	第2次まちづくり実施計画の総括と第3次まちづくり実施計画について	第1次まちづくり実施計画におけるこれまでの取り組み状況や成果・目標等を定めて整理し、新たな3年間の期間を定め、第2次まちづくり実施計画に取り組んできました。第2次まちづくり実施計画の総括と第3次まちづくり実施計画の策定に当たり、何を課題と捉えて策定したのか伺います。
		市民とともに市政を推進するまちについて	婚活支援について	施政方針の中で、結婚相談事業については、婚活関連イベントや相談体制の充実を図り、結婚して家庭を持ちたいと希望する方を支援していくとされていますが、具体的な取り組み内容を伺います。
		豊かな学びと文化が人を育むまちについて	スポーツ環境の充実について	市民一人ひとりがスポーツに親しめる環境づくりが求められています。市内には5か所のスポーツ広場がありますが、安心して快適に利用していくために、今後の整備方針について伺います。
		地域の力で築く活力あふれるまちについて	サイクルツーリズムについて	近年は自転車を活用した観光事業が盛んに行われており、サイクルツーリズムが地方創生に繋がる兆しを見せています。本市においても、自転車を活用した施策を行ってきましたが、今後のサイクルツーリズムの取り組みを伺います。
		高齢者福祉について	運転免許返納者への対応について	交通事故の死亡者数は年々減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者が占める割合が高くなっています。こうした中、運転免許自主返納という制度があります。自治体の中には、運転免許自主返納者に優遇措置を取っているところもありますが、本市の取り組みについて伺います。
		教育行政について	小・中学校の熱中症対策について	近年、学校の管理下における熱中症の死亡事例は、減少傾向となっていますが、未だ後を絶ちません。一部の地域や学校では、水泳の課外授業を中止にしたり、終業式を教室内でとりおこなったりと、さまざまな対策を講じています。本市における熱中症対策について伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
3	21番 小倉靖幸	第3次まちづくり 実施計画について	1 計画推進にあたっての市長の思いについて	第3次まちづくり実施計画は、現総合計画の総仕上げとなるものであり、次期総合計画への橋渡しとなるものであると認識しているが、計画の実現に向けてどのように推進していくのか市長の思いを伺う。
			2 毎年度見直しすることの効果について	第3次まちづくり実施計画の特徴として、計画内容を毎年見直し、弾力的に運用するとされているが、このことによる効果を現状でどのように考えているのか伺う。
			3 総合計画の改定について	平成25年度に現総合計画がスタートしてから6年経過し、目標人口9万人に向けて各施策に取り組まれてきたものの、目標人口と現状との乖離、国における人口ビジョンや総合戦略等、地方創生の動向、また、土地利用のあり方などを総合的に考えると総合計画の改定は早期に前倒しして取り組む必要があると考えるが、見解を伺う。
		東京2020オリ ンピック・パラリ ンピックを契機と した経済・文化振 興について	1 レガシーとしての観光振興について	東京オリンピック・パラリンピックに向けて市原市は、文化プログラムとして房総里山芸術祭アートミックスを行うと聞いている。また、木更津市では、クルーズ船の誘致も進んでいる。本市として、これらと広域に連携した観光施策を、特色を生かして行うことが必要と考えているが、見解を伺う。
			2 「きみつ少年少女合唱団」の参画と今後の運営体制について	「きみつ少年少女合唱団」は、東京オリンピック・パラリンピックに、文化振興の面で参画することを目標に掲げているが、今後どのような計画があるのか伺う。また、オリパラを契機として、合唱団がさらに質を高め、未来に継承していくために、今後、市として、どのような運営体制を考えているのか伺う。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		保育行政について	公立保育園整備計画について	現在、認可保育園の誘致など民間活力の積極的導入による保育園整備が進められており、今後は、公立保育園の整備計画（全体像）を策定していくとのことである。この計画をどのような視点で策定し、実行していくのか。併せて、（仮称）貞元保育園の今後の整備検討にあたって、公立・私立のバランス、役割を明確にしながら、本市において障がいのある子どもの保育の充実を図っていくことが重要と考えるが、見解を伺う。
		教育行政について	1 学校再編について	学校再編第2次実施プログラムの策定にあたっては、今年度早い時期に案を公表するものと認識していたが、現在の進捗状況と今後の展望について伺う。
			2 小中一貫教育の充実について	周南小中一貫教育校がスタートして、1年が経過した。この1年間の取り組みを踏まえ、教職員体制を含めた特色ある教育活動を、今年度どのように展開しているのか伺う。また、小中一貫教育の取り組みが、地域住民に十分に浸透し、地域の協力を得ることが、重要と考える。今後どのような周知と、そして協力を得るよう理解を高めていくのか伺う。
			3 教職員の働き方改革と部活動について	「部活動ガイドライン」が昨年度策定され、4月より運用されている。子どもたちの豊かな学校生活のためのガイドラインと認識しているが、策定の趣旨や内容、さらにはその教育的効果について伺う。また、部活動の充実に向け、外部指導者の活用についてどう考えているのか伺う。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
4	11番 須永 和 良 予定日時 6月6日(木) 14:30～15:30	市役所庁舎の建て 替えについて	1 庁舎の現状について	防災科学研究所が公表しているデータによると、本市で今後30年以内に震度6弱の地震が起きる確率は84.7%です。また、千葉県地震被害想定においては本庁舎が立地している場所は揺れやすさを表すS I増幅率が最上の「非常に揺れやすい」場所に色分けされています。 そのような状況の中で本庁舎は築42年が経過し、老朽化が進んでいます。現在雨漏り等の破損箇所はどこにどのようなものがあるのか、また耐震性能と倒壊した場合の被害予測について伺います。
			2 建て替えについて	「非常に揺れやすい」地面の上に築42年11階建てという高層の建物が建っている危険性を先送りし続けることは無責任だと思います。本市の将来負担比率は県平均・国平均よりも低く、庁舎を建て替える財政的な力はあると思います。あいまいにしている間に災害が起きてしまいます。市役所庁舎の建て替えを提言いたしますが、見解を伺います。
		交通事故の防止について	1 交通弱者の移動手段について	全国で痛ましい交通事故が報道されています。特に高齢者ドライバーによる事故は社会問題となっています。公共交通を整備することは利便性の向上だけでなく、事故を未然に防ぐという一面もあると思います。交通弱者の移動手段についてどのような対策を考えていますか、また近年の市内の高齢者ドライバーの事故件数の推移について伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 運転免許の返納について	先進地では免許返納の際の特典を、路線バス・コミュニティバス・デマンド交通・タクシー等の共通割引チケットにするなど、様々な工夫をしています。東京都国分寺市、富山県黒部市では、返納すると市内バス等を無期限無料で乗車できる事業を実施しています。また、灯油や日用品などの配達サービスを実施している自治体もあります。本市も高齢者の免許返納を進めていく必要があると思いますが、見解と近年の免許返納者数の推移・返納した際の特典を伺います。
			3 通学路の安全対策について	子どもが巻き込まれる痛ましい事故が後を絶ちません。少しでも被害を軽減させるために通学路の交差点には車止めのポールを設置していくべきだと考えますが見解を伺います。
		治安の良いまちづくりについて	1 特殊詐欺の防止について	治安の良いまちをつくるための施策は年代・性別関係なくすべての市民にとってプラスになることです。「治安の良いまちきみつ」というシティセールスは外から見ても魅力的であり、今住んでいる市民も誇りを持てることです。 そこで、市で特殊詐欺を未然に防ぐために自動応答録音機能などを備えた「特殊詐欺対策電話機」や固定電話に外付けするタイプの「特殊詐欺撃退機」の購入費補助を提言いたしますが、見解と近年の被害件数・金額について伺います。
			2 不審者情報の共有について	不審者を見たという情報は、学校・警察・教育委員会・市に最初の連絡があることが多く、その情報をどこかで誰かが重大事案でないと判断してしまえば、情報が共有されない場合があります。 この仕組みを見直し、すべての情報が共有され、さらに地図上でマッピングされ公開されることで、市民とも共有できるようにしたらどうかと思いますが、見解を伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		空き家・空き地対策について	1 君津市空家等の適切な管理に関する条例について	4月1日から君津市空家等の適切な管理に関する条例が施行されましたが、その後の状況を伺います。
			2 空き地の管理について	空き家は空家等対策の推進に関する特別措置法により代執行ができますが、空き地は代執行できません。住宅地の中にあり雑草が繁茂し、適正に管理されていない空き地は不法投棄の温床となることや、火災ともなれば延焼し被害を広げかねません。流山市や四街道市のように、空き地の草刈りを代執行できるよう条例制定を要望しますが、見解を伺います。
		子どもの虐待防止について	里親制度の普及について	兵庫県明石市では「あかし里親100%プロジェクト」と題し、里親を必要とする未就学児の委託率100%を掲げています。市も里親制度の普及を進めていく必要があると思いますが、見解を伺います。また、市内に一次保護されている子どもの人数も併せて伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
5	6 番 野 上 慎 治 予定日時 6月7日(金) 10:00～11:00	安全・安心のまち づくり推進について	1 共助の意識啓発と体制づくりについて	阪神・淡路大震災や東日本大震災において、被災者の救助・救命に地域の人達が大きな力を発揮したことは周知の事実です。災害時の共助の力を高めるためには「隣近所の安否確認をする」「隣近所で協力して消火や救助活動をする」のふたつをどれだけの人が意識し、実行するかで決まります。共助の意識の啓発と体制づくりをどのように進めていくのかお伺いします。
			2 賃貸住宅等の耐震化推進について	熊本地震では、老朽化したアパートが瞬時に倒壊し、何人もの大学生が犠牲となりました。耐震性が極めて低いと思われる昭和56年以前の賃貸住宅は何棟あるのか。また、それらの賃貸住宅の耐震化推進策についてお伺いします。
			3 避難所の安全確認について	熊本地震では、2度目の地震で益城町総合体育館のアリーナ部分の天井板等が落下しましたが、担当課長の判断で避難者をアリーナ部分に入れなかったため、大惨事を免れることができました。避難所開設時の安全確認の体制と各避難所の状況の周知方法についてお伺いします。
			4 防災訓練、避難訓練等の充実について	普段できないことが、非常時にできるわけではありません。だからこそ、災害を想定した訓練が大切です。市においてはどのような訓練が実施され、どのような効果があったのかお伺いします。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		子どもが育つまち づくり推進について	1 英語学習の推進について	本市は、英語教育の充実を目指し、独自の英語検定やイングリッシュ・デイ・キャンプなどを実施してきましたが、それらの取り組みの成果と今後の取り組みについてお伺いします。
			2 地域学習の推進について	地域を愛し、地域に貢献しようという人材の育成は、住みよい君津のまちづくりのためにも重要な取り組みです。そのためには、地域の歴史や文化を学んだり、地域の方々と触れ合ったりすることが大切です。これまでも、総合的な学習などで取り組んでこられたと思いますが、地域学習を、継続的・発展的に行うためには、地域が学校をサポートする体制づくりが必要です。その体制づくりの現状と課題についてお伺いします。
			3 今後の部活動のあり方について	部活動は学校教育の一環として、スポーツや芸術・文化を通して生徒の個性や能力を伸ばし、社会性や人間性を育むなど、教育的効果が認められてきました。一方で、勝利のみを目的とした指導の在り方や長時間にわたる練習など、改善すべき面もあります。今回、君津市部活動ガイドラインが策定されましたが、策定の趣旨や具体的な内容、期待される効果についてお伺いします。
			4 市奨学金の減免制度について	卒業後、君津に住んでいる間、市税相当額を返済額から減免する制度をつくることは、貧困家庭の進学支援になるとともに、君津への若者のUターンを後押しできると考えますが、見解をお伺いします。
		就労支援の推進について	君津版ハローワークについて	市長の施政方針において「ニーズに応じたきめ細かい支援ができるよう、君津版ハローワークの開設に取り組んでまいります」とありましたが、その後の進ちょく状況についてお伺いします。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
6	13番 三浦道雄 予定日時 6月7日(金) 11:15~12:15	市長の政治姿勢について	政治家としての見識について	1 立憲主義を否定するような国政運営を行う安倍自民党政権をどのように認識しているか、市長の立ち位置(政治的スタンス)をお伺いします。 また、憲法第9条に自衛隊を書き込むことなどを公言してはばからない安倍首相をどのように捉えているのか、最高法規である、憲法第99条の擁護義務違反と考えますが、見解をお伺いします。 2 オスプレイの木更津駐屯地への飛来や配備問題は新聞等で報道されていますが、隣接市へのオスプレイの配備について、改めて市長の見解をお伺いします。
		福祉・医療行政について	1 高い国民健康保険税の引き下げについて	毎定例会において、国民健康保険税の引き下げについて質問してきましたが、国民健康保険は他の協会けんぽ等と比較して構造的に危機的状況であることが共通の認識となってきました。全国知事会は、国民健康保険の構造的な問題を解決するため、国が1兆円の公費を投入することを求めています。認識についてお伺いします。
			2 社会保障制度の拡充について	超高齢社会を迎え、一人暮らし高齢者、認知症高齢者の増加に伴い、現行の社会保障制度の拡充が求められていますが、見解をお伺いします。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		教育行政について	誰もが納得できる学校統廃合について	住民合意が不十分なままの「学校再編第1次実施プログラム」の実施は、将来に禍根が残るのではないかと危惧しており、毎定例会において、見直し、改善、市民の声を反映するようにと訴えてきました。ところが、「決定事項である」「十分説明はしている」との一点張りで、市民の声は届いていません。対等と主張し、上総地区の3つの小学校を統合するのであれば、統合校の中央部に新しい学校を建設する見通しを示すべきと考えます。 旧町村のそれぞれの地域は学校と共にあり、運動会、市民体育祭、保護者会など、地域のきずなそのものです。そうした歴史と伝統のある学校が閉校、幕を閉じるとなれば、地域を挙げての閉校記念式典を市の主催において行うことは、市民にとって当然の願いではないでしょうか。それを「そぐわない」とする姿勢は、「市民が主役」と言う市長の理念に反すると考えますが、見解をお伺いします。
		環境行政について	産業廃棄物最終処分場の増設に係る訴訟について	新井総合施設株式会社の第3期増設事業に関し、千葉県に対して許可の取り消しを求める行政訴訟が起こされていますが、当該訴訟について、どのように受け止めているのかお伺いします。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
7	5 番 佐 藤 葉 子 予定日時 6 月 7 日 (金) 13 : 15 ~ 14 : 15	人にやさしい安全 安心なまちづくり について	1 交通安全対策について	本年5月に滋賀県大津市で発生した保育園児らを巻き込む交通傷事故、その1週間後には市原市の公園に車が突っ込み、遊んでいた園児をかばおうとした保育士が骨折する事故が起きるなど、何の落ち度もない子どもたちが被害に遭うといった痛ましい事故が相次いでいます。このような中、本市においても通学路の安全点検をはじめ交通事故ゼロを目指し、様々な対策を実施されていますが、更なる対策強化は急務です。今一度、通学路や全保育園の園外活動ルートを点検し、緊急性の高い場所へのガードレール・ガードパイプ等を設置すること、さらにドライバーに対する事故防止の啓発や支援が必要と考えますが、本市の取り組みについて伺います。
			2 子育て等にやさしい環境整備について	障がいのある人や妊婦などが安心して外出できるよう、理解や配慮を求めるマークが広がっています。本市の公共交通機関や公共施設駐車場におけるマークの掲示状況を伺います。既存のマークに加えて、大切な命を乗せるベビーカーを気兼ねなく使いたいとの母親たちの声から、2014年に「ベビーカーマーク」が制定されています。社会全体で子育てを支えるためにも、市役所駐車場等にベビーカー優先スペースの設置が必要と考えます。併せて、「ベビーカーマーク」を含む各種マークの周知や理解、正しい利用を促す取り組みについてご見解を伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			3 まちなかのベンチ設置について	市民の交流や介護予防となる社会参加、そのきっかけとなる健康づくりや外出の際に休憩する場所など、まちなかのベンチ設置について伺います。バス停へのベンチ整備を促進するとともに、歩道や公園等への設置も組み合わせ、まち全体にベンチを増やし高齢者等に優しいまちにすべきと考えます。企業や団体等の寄附を募り、ベンチを設置できないでしょうか。本市の現状及びご見解を伺います。
		子どもの命と健康を守る取り組みについて	1 子どものインフルエンザ予防接種補助について	毎年インフルエンザの流行時期になると、小学校や中学校において集団感染が発生し、授業への影響や子育て中の保護者は子どもの看病のために仕事を休まなければならない状況となるなど、深刻な問題です。昨冬のインフルエンザ流行期における市内の学級閉鎖数は30、罹患者は小中学生だけでも約200名でした。重症化予防の観点からも予防接種を受けやすくする環境整備が必要と考えます。子どものインフルエンザ予防接種に対する一部公費助成の創設についてご見解を伺います。
			2 乳幼児健診における網膜芽細胞腫の早期発見について	小児がんは年間発症数が少ないために多くの医療機関では医療経験が乏しく、適切な医療受診の遅れなどが懸念されます。小児がんの1つである網膜芽細胞腫は出生時1万5千人から1万6千人に1人が発症する眼のがんであり、乳幼児健診でチェックできれば、子どもたちの命を守ることができます。本市はどのような取り組みを行なっているか伺います。
			3 新生児の聴覚検査率向上とフォロー体制について	生まれつき両耳に難聴がある新生児は1,000人に1～2名とされ、早期に発見して適切な療育を受ければ、言葉の発達への影響を最小限に抑えることができます。新生児聴覚検査は、先天性難聴の早期発見に有効として国が推奨していますが、検査は任意です。本市の検査状況とフォロー体制について伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
8	17番 高橋 明 予定日時 6月7日(金) 14:30～15:30	新たなまちづくり の拠点について	防災機能などを兼ね備えた多目的広場の整備について	木更津東インターチェンジを君津の東の玄関口として位置づけ、小櫃公民館の建て替えに併せて、避難所や防災ヘリの発着所、イベント広場、バスターミナルを設け、J A きみつ味楽園おびつ店と連携するなど、様々な機能を兼ね備えた多目的広場を整備することにより、防災機能の強化、交通利便性の向上、更なる交流人口の増加などに繋がり、副次核の新たな拠点となると考えますが、見解を伺います。
		農業政策について	農業の担い手の確保について	地域の過疎化や少子高齢化等に伴い農業の担い手が非常に少なくなっている昨今、農業者の負担が担い手不足につながってきています。そこで、担い手の確保を図る事業の負担軽減としては、ほ場の基盤整備による農作業の効率化や、これに要する費用負担の軽減が必要と考えます。担い手の負担軽減を図るための補助事業及び国の補助率に合わせた市の補助率の見直しを再度検討できないか伺います。
		小櫃診療所について	医師確保の取り組みについて	小櫃診療所について、平成29年度末に市の常勤医師が退職してから、診療日数を縮小して運営していますが、医師確保に向け、どのような取り組みをしているか伺います。
		市営聖地公園について	桜開花時の開園時間の延長と周辺整備について	聖地公園のソメイヨシノの満開の時期には、閉園時間が午後4時30分となっているため、それ以降の時間は見ることはできません。そこで、桜が見ごろの時期は、開園時間を延長できないでしょうか。また、聖地公園のすぐ下に「久留里千年の森」という民間施設があり、イベントの開催時には、市内外から多くの方が訪れています。聖地公園から通じる遊歩道があれば、聖地公園のPRや利便性の向上にもつながると考えますが、見解を伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		上総聖苑のあり方について	木更津市新火葬場整備後の継続使用について	現在、君津地域4市の共同利用施設として、木更津市新火葬場整備運営事業に取り組まれておりますが、本市には上総・小櫃地区の市民を中心に利用され、当該地域の市民生活に根差した上総聖苑があります。新火葬場を補完する施設として、当面の間、上総聖苑の運営を継続していくべきではないかと考えますが、見解を伺います。
		法木山の活用について	市有地の活用について	市の中心に位置し、君津インターからも近い、広大な法木山を活用することは、市の発展に有益なことだと考えます。そこで、法木山にある市有地の山砂を採取業者に販売し、採取後の平坦となった跡地に核となる市庁舎やミツバツツジの里を移転させるなど、将来の経済や観光の中心としての活用を検討すべきだと考えますが、見解を伺います。
		水の保全について	産業廃棄物最終処分場に対する市の見解と現状について	新井総合施設株式会社の産業廃棄物最終処分場では、平成16年4月から廃棄物の埋立てが行われ、平成25年1月には第2期処分場が稼働し、さらに、平成30年8月には第3期処分場の増設が許可され、現在、増設工事が進められています。そこで、新井総合施設株式会社の産業廃棄物最終処分場に係る水の保全に対する市の見解と、第1期、第2期及び第3期処分場の現在の状況について伺います。
		教育環境整備について	エアコン設置の進ちょく状況について	全国的に一斉にエアコンの整備が進められています。そのため、需要が高まり機材の調達が困難となり、学校施設等へのエアコンの設置に遅れが生じる自治体もあるように聞いています。改めて、本市の設置時期の見込みについて、伺います。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
9	2番 下田 剣 吾 予定日時 6月10日(月) 10:00~11:00	市長の選挙公約について	1 公約「買い物や外出を支援する乗合交通網の整備」を実現するために	石井市長の選挙公約の中でも特に、「買い物や外出を支援する、乗り合い交通網を整備」という政策に、大きな期待が高まっています。上総・小櫃地区だけでなく、特にバス路線もなく、バス停まで歩けない方にとって小糸地区や周南地区の一部などにもデマンドタクシー（乗合交通）が導入されるのは市民の悲願です。 これまで市は寄せられる多くの要望に対して、「日本大学との共同研究の中で検討する」と述べ、その内容を重要視し、早期の実現は難しい旨を答弁してきました。研究の最終報告がこのほど行われましたが、その状況についてお聞かせください。
			2 公約実現のための人事について	市長公約実現のためには、パートを含め千人を超える市役所を動かす人事戦略が重要だと考えます。市原市の幹部職員として多くの成果を上げた副市長と、福祉のエキスパートである県職員を保健福祉部幹部に任命した狙いをお聞かせください。
		市役所の改革・改善について	1 後発（ジェネリック）医薬品の活用について	市は議会と共に様々な改革に取り組んできました。後発（ジェネリック）医薬品の活用で生活保護、国民健康保険、こども医療費などの予算の効率化が図られましたが、平成23年から現在まで、どのような成果があったかお聞かせください。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 市立保育園について	市立保育園の保育士の給料や手当、休日などについて、どのように改善が図られたかお聞かせください。また、11年前に設計事務所に委託し行われた平成20年度の予備調査で指摘された市立保育園の危険性について、改善した部分と、改善できていない部分をお聞かせください。
			3 適正に管理されない空き家・空き地について	適正な管理がなされない空き家や空き地に多くの近隣住民や自治会が頭を悩ませています。そうした中で空き家について条例ができたことは大きな意義があると考えます。一方で、一向に状況が改善しない空き家があること、また、市街化区域だけでも空き地の除草を条例改正で促すことができないかなどの課題もありますが、見解をお聞きします。
			4 ごみの収集事業について	一般ごみと資源ごみの収集事業が、本市でも今では少なくなった随意契約のまま見直されていませんが、現状をお聞きします。
			5 消防団や家族の負担軽減について	議会が指摘した事業の取り組み状況についてお聞かせください。
		活性化のための新たな取り組みについて	1 きみつの未来活力支援センターと木更津市との比較について	本市の中小企業を支援するためのきみつの未来活力支援センター設置から8か月が過ぎ、議会としても予算を可決してきました。木更津市の産業創業支援センターと比べて、実績や費用対効果、メディアやSNSの露出に違いがあるか、お聞かせください。

令和元年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2 音楽フェスティバルの開催や文化芸術振興について	市長の考えの一つに、観光客や本市のファン（好きな方）も含む関係人口、交流人口を増やすことで本市を活性化するというものがあります。そこで、野外の音楽フェスティバルは本市の自然を活かし、特に若者を呼び込む点で効果が大きいと考えます。若者向けの音楽で言えば、人気バンドの気志團は本市出身であり、観光客の多い久留里地区と同音のくるりという人気バンドもあります。袖ヶ浦市の「気志團万博」の成功は有名ですが、佐倉市が主催した「くさのねフェス」では市の職員二人が中心となり100万円の予算で約2,000人が来場しました。本市も人材育成のための若手職員によるイベント事業にも取り組んでおり、こうした事にも活用できるのではないのでしょうか。平成30年6月議会では「PRにつながる。研究する」との答弁でしたが、進ちょくをお聞きます。 また、市を代表する松本ピアノについて様々な取り組みをしてきましたが、自治体が公共の場所に設置し、誰でも弾くことができる「フリーピアノ」が世界中で話題となっています。例えば、市役所1階や君津駅の通路などにピアノを置き、演奏してもらうことで、音楽や芸術が盛んなまちとしてその存在をさらにPRできるのではと考えますが、見解をお聞きます。
			3 高齢者などのごみ出し支援について	高齢化が進み、生活に欠かすことができないごみ出しに困る市民が増えています。その中には、近所に助けてもらえる人がいない、身寄りがないなどの理由で本当に困っている方もいます。平成30年6月の議会では「本市の実情に合った制度を」とのことでしたが、最近、一部の地域包括支援センターがその状況について調査などを行ったということです。その結果と今後の取り組みについてお聞かせください。